

# 2010年度春の三者総会 議案書

2011年度三者事務局校・神戸大学

2011年3月28日～4月3日午後5時

於・YONUPA-ML上

## 目次

1	2011年度三者センター校(京都大学)修正予算案	[’11/03/18 現在]	2
1.1	収入予定		2
1.2	支出予定：各役職校からの予算申請を元に作成、内訳は次節以降に記載.		3
1.3	修正点のまとめ		5
1.4	諸連絡		5
2	東北地方太平洋沖地震に対する三者若手の対応に関して		6
2.1	東北地方の学生に対する今後の補助		6
2.2	補助の方針		7

# 1 2011 年度三者センター校 (京都大学) 修正予算案

[ '11/03/18

現在]

文責：上田宏史 (京都大学)

## 1.1 収入予定

- (1) 前年度繰越金 (2010 年度決算終了時の繰越金額を記載) : ¥969,864<sup>†1</sup>
- (2) 参加費 (参加者が 250 名の場合) : ¥4,000 × 250 = ¥1,000,000<sup>†2</sup>
- (3) 外部団体への援助・協賛申請 (前年度と同様, 内訳は下表) : ¥950,000

団体名	内容	今年度申請額	状況
素粒子論グループ	旅費補助	450,000	承認
基研	講師等旅費, ポスター印刷費 *	500,000	承認
RCNP	協賛	0	申請中
原子核談話会	協賛, 原子核研究出版費	0	承認
高エネルギー研究者会議	協賛	0	承認
KEK	協賛	0	申請予定
理研仁科センター	協賛	0	承認
申請額合計		950,000	

\* ポスター印刷費は、実際にかかった費用のみが支払われる。

収入合計 : (1) + (2) + (3) = ¥2,919,864<sup>†3</sup>

修正点

†1 記入ミス。¥1,011,925 → ¥969,864

†2 東京での開催を考慮して参加人数を多く見積もった。220 → 250

†3 上記の修正のため ¥2,841,925 → ¥2,919,864

## 1.2 支出予定：各役職校からの予算申請を元に作成、内訳は次節以降に記載。

役職名	今年度予算案	前年度決算額*
三者センター校	3,000	700
三者事務局	0	0
三者準備校	300,500	341,519
三者名簿校	0	0
素粒子論パート事務局	0	0
素粒子論パート準備校	33,000	21,576
原子核パートセンター校	0	0
原子核パート準備校	10,000	2,686
高エネルギーパート準備校	0	0
役職校小計	346,500	366,481
講師旅費* <sub>1</sub>	400,000	372,500
ポスター印刷費	100,000	27,500
学生旅費補助	1200,000* <sub>2</sub>	989,580
次年度繰越金	873,364	969,864
総計	2,919,864	2,725,925

\* 前年度決算は 2010 年度三者センター校の決算報告に基づいている。

(注.) 他に『学生旅費補助』、『次年度繰越金』、『ポスター印刷費 (上限 10 万円)』、『講師旅費』などがある。

\*<sub>1</sub> 講師と学生発表者への補助合計額

\*<sub>2</sub> 繰越金額が 90 万円程度になるように計算。

### 1.2.1 各三者役職校の支出予定項目

- 三者センター校 (京都大学)

申請項目	申請額
振込手数料	3,000
申請額合計	3,000

- 三者事務局 (神戸大学)

申請項目	申請額
コピー代	0*
申請額合計	0

★ 三者事務局の予算は研究室で負担していただけるそうです。

● 三者準備校 (九州大学)

申請項目	申請額
施設使用料金	200,500
コピー代	20,000
文具代	20,000
郵送費	30,000
払出し手数料	30,000
申請額合計	300,500

● 三者名簿校 (広島大学)

申請項目	申請額
なし	0
申請額合計	0

1.2.2 各パート役職校の支出予定項目

パート名	今年度予算(案)	前年度決算額*
素粒子	33,000	21,576
原子核	10,000	2,686
高エネルギー	0	0
パート予算合計	43,000	24,262

★ 前年度決算は 2010 年度三者センター校の決算報告に基づいている。

● 素粒子論パート

－ 素粒子論パート事務局 (富山大学)

申請項目	申請額
なし	0
申請額合計	0

－ 素粒子論パート準備校 (東北大学)

申請項目	申請額
録音関係費	20,000
機材送料	6,000
消耗品代	5,000
研究会費	2,000
申請額合計	33,000

● 原子核パート

－ 原子核パートセンター校 (東北大学)

申請項目	申請額
なし	0
申請額合計	0

－ 原子核パート準備校 (大阪大学)

申請項目	申請額
輸送代	5,000
文房具代	3,000
コピー代	2,000
申請額合計	10,000

● 高エネルギーパート

－ 高エネルギーパート準備校 (奈良女子大学)

申請項目	申請額
なし	0
申請額合計	0

1.2.3 ワーキンググループの支出予定項目

● セクハラワーキンググループ

申請項目	申請額
なし	0
申請額合計	0

1.3 修正点のまとめ

上記の通り訂正致します。その他の 2010 年度秋の三者総会議案書における予算案からの主な修正点は以下の通りです。

修正項目	修正前	修正後
前年度繰越金	1,011,925	969,864
参加人数、参加費	$220 \times 4,000 = 880,000$	$250 \times 4,000 = 1,000,000$
収入合計	2,841,925	2,919,864

1.4 諸連絡

**口座の開設:** 経費の振込みが必要となる各役職校は、振込みに使う郵便口座か銀行口座を用意して下さい。振込み手数料を考えると郵便局の口座の方が望ましいかと思います。

**領収書の提出:** 夏の学校の決算時には予算のすべての支出に対して領収書を提出して頂きます。領

取書の但し書き、品名等はできるだけ具体的に書いて予算の各項目との対応関係がはっきり分かるようにして下さい。領収書の宛名は「原子核三者若手」です。不明な点は三者センター校・京都大学

京都よぬば対策本部 e-mail: yonupa-heihei@ruby.scphys.kyoto-u.ac.jp

まで問い合わせして下さい。

**講師旅費の交渉・連絡:** 講師の方への旅費補助等についての連絡は、三者センター校（京大）が一括して行います。各講師の方への連絡は5月頃になる予定です。

## 2 東北地方太平洋沖地震に対する三者若手の対応に関して

北海道大学 素粒子論研究室 代表 近藤陽志  
北海道大学 原子核理論研究室 代表 井坂政裕

現在、日本物理学会をはじめ、素粒子論グループなど各領域のメーリングリストにおいて東北地方太平洋沖地震に対する対応が議論されている。今後、物理学会各領域の具体的対応が決定されていくことが予想されるなかで、それらの動きに対して、三者若手としてできる対応や貢献をする必要があるのではないかと考える。そこで、北海道大学素粒子論研究室と原子核理論研究室は連名で以下の議案を発議する。

### 2.1 東北地方の学生に対する今後の補助

現状の東北地方の被害状況を見る限り、震災による損壊によって東北大や J-PARC をはじめとした機関における研究活動が停滞することが予想される。また、震災に伴う計画停電等によって加速器施設の本格的な運転再開の見通しがはっきりしていない。このような状況下で、三者若手の目的に鑑みた対応が必要であると考えられる。

三者若手の目的の大きな柱は、全国の大学院生の人材交流である。その目的に鑑み、2011 年度に関しては、震災被害の大きい地域からの夏の学校への参加費用の補助を重点的に行うことが必要であるように思われる。そのような補助を行う上で、補助すべき対象の設定や、それに対する予算の確保を三者若手全体で議論し、意思決定していくことが重要であると考えられる。

現状予算執行に関しては三者センター校に一任されているが、補助のあり方に関して公平な議論を行い、人材交流が潤滑に行われるよう検討願いたい。

## 2.2 補助の方針

### 2.2.1 補助の対象

補助の対象に関しては、「所属機関が被災地域に該当する者」とする。この補助の目的は、被災による研究活動の停滞を、人材交流によって補助することとするのが妥当である。個人的な被災状況、例えば実家が被災地であるなど、は三者若手の役職校が把握するのは難しく、個人の被災状況による補助の妥当性を判断するには膨大な個人情報扱う必要がある。このような背景からも「所属機関が被災地域に該当する者」を対象とするのが妥当であろう。

具体的な補助の対象地域は、国の定める「災害救助法適用地域」とし、この地域に所属研究機関が所在する者を対象者とする。なお、「災害救助法適用地域」については、厚生労働省「平成 23 年(2011 年)東北地方太平洋沖地震にかかる災害救助法の適用について(第 10 報)」\*<sup>1</sup>(2011 年 3 月 17 日現在)に掲載されている。ただし、このうち東京都は、帰宅困難者対応のための適用であるため、本議案の対象地域から除外する。

### 2.2.2 補助額の設定

補助額に関しては「旅費全額+参加費」を最低限保証するものとする。

### 2.2.3 予算の執行及び確保

予算の執行に関しては、基研からの予算を補助対象者に優先的に充てる。例年基研の予算は講師旅費補助や学生の研究会発表者などに優先的に充てられているが、学生発表者の旅費補助分を震災に伴う旅費補助対象者にまわすことを考える。不足分に関しては、希望参加者に一律補助として充てている予算から、2.2.2 の最低補償額を支払うよう調節する。

---

\*<sup>1</sup> <http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r98520000014j2y.html>